

令和7年度大学入学共通テスト

試作問題「地理歴史」の概要

1. 試作問題『地理総合，地理探究』の概要
2. 試作問題『歴史総合，日本史探究』の概要
3. 試作問題『歴史総合，世界史探究』の概要
4. 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の概要

1. 試作問題『地理総合，地理探究』の概要

(1) 問題構成

試作問題『地理総合，地理探究』は，以下の構成で作成している。

問題番号	出題内容（平成 30 年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第 1 問 ※ 1	【地理総合】 「B 国際理解と国際協力」の「(2)地球的課題と国際協力」における，主に難民をめぐる現状や課題に対応したものである。	12
第 2 問 ※ 2	【地理総合】 「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(1)自然環境と防災」における，主に日本の自然環境と防災に対応したものである。	13
第 3 問	【地理探究】 「A 現代世界の系統地理的考察」の「(1)自然環境」における，主に気候を中心として，地形や生態系との関わりに対応したものである。	17
第 4 問	【地理探究】 「A 現代世界の系統地理的考察」の「(2)資源，産業」及び「(3)交通・通信，観光」における，主に農業，工業，交通・通信，貿易と経済圏に対応したものである。	17
第 5 問	【地理探究】 「B 現代世界の地誌的考察」の「(1)現代世界の地域区分」及び「(2)現代世界の諸地域」における，主にアフリカとその周辺地域に対応したものである。	17
第 6 問	【地理探究】 「A 現代世界の系統地理的考察」の「(4)人口，都市・村落」における，主に人口問題，都市・居住問題と，「C 現代世界におけるこれからの日本の国土像」の「(1)持続可能な国土像の探究」における，まちづくりの在り方に対応したものである。	24
	合計	100

※ 1 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」第 1 問と共通

※ 2 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」第 2 問と共通

(注) 上記の出題内容は試作問題『地理総合，地理探究』のものであります。令和 7 年度大学入学共通テスト『地理総合，地理探究』の出題内容は，本試作問題を踏まえ，今後も引き続き検討します。

(2) 各問題の概要

『地理総合，地理探究』第1問

※試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」の第1問と共通

第1問は，主に高等学校学習指導要領「地理総合」の「B 国際理解と国際協力」の「(2) 地球的課題と国際協力」に対応したものである。

地球的課題としての難民問題に関する基礎的・基本的な知識を基に，難民の出身国や受入れ国それぞれの地域内外の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，難民問題の現状や要因，課題の解決の方向性などを多面的・多角的に考察できるかを問う。

■各設問の概要

問1	主題図から難民が発生している地域や数，特徴などを読み取り，難民の実態に関する知識と関連付け，難民問題の現状と課題について考察できるかを問う。
問2	概念図から紛争鉱物の産出と流通に関する情報を読み取り，難民の発生に関する知識と関連付け，紛争が継続する要因とその解決について考察できるかを問う。
問3	説明文やグラフから各国の難民の受入れ数の推移などを読み取り，難民受入れの歴史的背景に関する知識と関連付け，各国の難民受入れの動向について考察できるかを問う。
問4	資料から難民の発生と受入れに関する現状や課題などを読み取り，難民問題に関する知識と関連付け，難民問題の解決に向けた必要な対応について考察できるかを問う。

『地理総合，地理探究』第2問

※試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」の第2問と共通

第2問は，主に高等学校学習指導要領「地理総合」の「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(1)自然環境と防災」に対応したものである。

世界や日本でみられる自然災害と防災に関する基礎的・基本的な知識と，新旧地形図の読図などの地理的な技能を基に，防災と自然及び社会的条件との関わりや持続可能な地域づくりなどに着目して，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察できるかを問う。

■各設問の概要

問1	主題図から1900年以降に発生した地震の震央や規模などを読み取り，地震と世界の大地形に関する知識と関連付け，地震の発生領域や発生履歴について考察できるかを問う。
問2	地形図と治水地形分類図から地形の特徴や土地利用などを読み取り，河川が作る地形とその特徴に関する知識とを関連付け，土地条件と災害リスクについて考察できるかを問う。
問3	資料から自然災害伝承碑の記載内容を読み取り，地形や自然災害に関する知識と関連付け，地震による被害がもたらされる地形や土地条件について考察できるかを問う。
問4	天気図から気圧配置などを読み取り，気象によって想定される自然災害に関する知識と関連付け，自然災害と防災や減災のための構造物との関係について考察できるかを問う。

『地理総合，地理探究』第3問

第3問は、主に高等学校学習指導要領「地理探究」の「A 現代世界の系統地理的考察」の「(1) 自然環境」に対応したものである。

気候に関する空間的な規則性や傾向性に関する基礎的・基本的な知識を基に、事例地域の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、地球環境問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察できるかを問う。

■各設問の概要

問1	問題文からハイサーグラフに関する説明を読み取り、世界の気候に関する知識と関連付け、ハイサーグラフの形と気候帯について考察できるかを問う。
問2	資料から地形の分類や地形の断面、気温や海面の変化に関する特徴などを読み取り、地形の成因に関する知識と関連付け、地形の種類と形成時期について考察できるかを問う。
問3	資料から世界における年平均気温の分布や大気放射収支の緯度分布の特徴を読み取り、大気大循環に関する知識と関連付け、世界の気温や降水量について考察できるかを問う。
問4	資料から暖かさの指数と植物種との関係を読み取り、日本の気候に関する知識と関連付け、過去の気候の復元について考察できるかを問う。
問5	模式図から自然環境と人間社会の関係性を読み取り、気候や生態系に関する知識と関連付け、自然環境と人間社会との相互依存関係について考察できるかを問う。

『地理総合，地理探究』第4問

第4問は、主に高等学校学習指導要領「地理探究」の「A 現代世界の系統地理的考察」の「(2) 資源，産業」及び「(3) 交通・通信，観光」に対応したものである。

世界の産業や交通・通信に関する空間的な規則性や傾向性，世界の諸地域の地域的特色などに関する基礎的・基本的な知識を基に，地域間の結び付きなどに着目して，産業や交通・通信などに関わる地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察できるかを問う。

■各設問の概要

問1	主題図からブドウの主な輸入先の特徴を読み取り，国際貿易に関する知識と関連付け，国家間の貿易に関する地域的近接性やつながりについて考察できるかを問う。
問2	グラフから地域間の貿易額を読み取り，地域経済圏に関する知識と関連付け，地域間の貿易に関する地理的条件や歴史的な結び付きについて考察できるかを問う。
問3	資料から製紙・パルプ工場の分布と生産物の流れを読み取り，工業立地や製紙・パルプ工業に関する知識と関連付け，製紙・パルプ工場の立地の特徴について考察できるかを問う。
問4	資料から都道府県間の公共交通機関別旅客数の特徴を読み取り，都市や交通に関する知識と関連付け，様々な交通機関による都市の結び付きについて考察できるかを問う。
問5	資料から主な海底ケーブルの敷設状況や国際データ通信の特徴を読み取り，データ通信に関する知識と関連付け，世界のデータ通信による結び付きについて考察できるかを問う。

『地理総合，地理探究』第5問

第5問は，主に高等学校学習指導要領「地理探究」の「B 現代世界の地誌的考察」の「(1) 現代世界の地域区分」及び「(2) 現代世界の諸地域」に対応したものである。

アフリカの地域的特色やアフリカで見られる地球的課題に関する基礎的・基本的な知識や，各種の主題図や資料を踏まえて地域区分する地理的技能を基に，地域の結び付き，構造や変容などに着目して，アフリカの地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察できるかを問う。

■各設問の概要

問1	資料から乾燥指数の特徴を読み取り，気候と農業に関する知識とを関連付け，アフリカの気候と農牧業に関する地域的特色について考察できるかを問う。
問2	資料から焼畑の特徴などを読み取り，日本や世界の諸地域で見られる焼畑の特徴に関する知識と関連付け，焼畑に関する共通性について考察できるかを問う。
問3	主題図からアフリカとその周辺地域の宗教と語族の分布を読み取り，宗教と語族に関する知識とを関連付け，宗教と語族の分布の特徴について考察できるかを問う。
問4	グラフからアフリカ諸国とユーロ圏及び中国との貿易額の特徴を読み取り，アフリカ諸国の貿易に関する知識と関連付け，貿易相手国の地域差について考察できるかを問う。
問5	グラフからアフリカ諸国の合計特殊出生率に関する特徴を読み取り，アフリカの人口問題に関する知識と関連付け，人口問題の解決に向けた取組について考察できるかを問う。

『地理総合，地理探究』第6問

第6問は、主に高等学校学習指導要領「地理探究」の「A 現代世界の系統地理的考察」の「(4) 人口，都市・村落」及び「C 現代世界におけるこれからの日本の国土像」の「(1) 持続可能な国土像の探究」に対応したものである。

人口や都市に関する地球的課題の動向に関する基礎的・基本的な知識や、資料から地理に関する情報を読み取りまとめる地理的技能を基に、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、都市に関する課題の解決の方向性や将来のまちづくりの在り方などを多面的・多角的に探究できるかを問う。

■各設問の概要

問1	資料から異なる三つの地区の位置と特徴を読み取り、人口問題や都市問題に関する知識と関連付け、住居の特徴と世帯や人口構成の関連について考察できるかを問う。
問2	グラフから二つの地域の空き家に関する状況を読み取り、空き家問題に関する知識と関連付け、空き家の実態の地域的な差異や特徴について考察できるかを問う。
問3	資料から聞き取り調査の結果を読み取り、複数の主題図から得られた地域情報に関する知識と関連付け、高齢者の買い物に関する現状について考察できるかを問う。
問4	主題図から都市の交通体系に関する情報を読み取り、都市計画に関する知識と関連付け、モータリゼーションの進展に伴う交通渋滞の発生とその解決について考察できるかを問う。
問5	資料から都市の交通網と施設配置に関する情報を読み取り、都市の内部構造に関する知識と関連付け、郊外都市が抱える課題の解決とまちづくりについて考察できるかを問う。
問6	グラフから都道府県別の平均通勤時間と持ち家住宅率の特徴を読み取り、各都道府県の生活実態に関する知識と関連付け、都道府県別の特徴について考察できるかを問う。
問7	会話文から都市が抱える多様な課題を読み取り、都市問題の解決に関する知識と関連付け、持続可能なまちづくりの取組に向けて構想できるかを問う。

2. 試作問題『歴史総合，日本史探究』の概要

(1) 問題構成

試作問題『歴史総合，日本史探究』は，以下の構成で作成している。

問題番号	出題内容（平成30年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第1問 ※1	【歴史総合】 「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(4)近代化と現代的な諸課題」，「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(3)経済危機と第二次世界大戦」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(2)冷戦と世界経済」に対応したものである。	25
第2問	【日本史探究】 「A 原始・古代の日本と東アジア」の「(3)古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」，「B 中世の日本と世界」の「(3)中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」，「C 近世の日本と世界」の「(3)近世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」及び「D 近現代の地域・日本と世界」の「(3)近現代の地域・日本と世界の画期と構造」に対応したものである。	15
第3問	【日本史探究】 「A 原始・古代の日本と東アジア」の「(3)古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」に対応したものである。	15
第4問	【日本史探究】 「B 中世の日本と世界」の「(1)中世への転換と歴史的環境」「(3)中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」及び「C 近世の日本と世界」の「(1)近世への転換と歴史的環境」に対応したものである。	15
第5問	【日本史探究】 「C 近世の日本と世界」の「(3)近世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」に対応したものである。	15
第6問	【日本史探究】 「D 近現代の地域・日本と世界」の「(3)近現代の地域・日本と世界の画期と構造」に対応したものである。	15
	合計	100

※1 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の「歴史総合」第1問と共通

(注) 上記の出題内容は試作問題『歴史総合，日本史探究』のものであります。令和7年度大学入学共通テスト『歴史総合，日本史探究』の出題内容は，本試作問題を踏まえ，今後も引き続き検討します。

(2) 各問題の概要

『歴史総合、日本史探究』第1問

※試作問題『地理総合、歴史総合、公共』の「歴史総合」の第1問と共通

第1問は、主に高等学校学習指導要領「歴史総合」の「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(4)近代化と現代的な諸課題」、 「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(3)経済危機と第二次世界大戦」、 「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(2)冷戦と世界経済」に対応したものである。

この大問では、「歴史総合」の授業において、「人やモノの移動とその影響」を主題にして、資料を基に考察する場面を設定し、その探究活動の過程で必要とされる資質・能力を問うている。A では、19世紀の交通革命による世界の一体化の進行について、作成されたパネルや資料を通してその特徴や背景を考察する過程を扱っている。また、B では、環太平洋地域における人の移動について、特に沖縄県からの人の動きに着目して図や表を通してその特徴や背景を考察する過程を扱っている。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	A 「パネル1」の読み取りを基に、第1次産業革命についての基本的な知識を身に付けているかを問うとともに、日本の開国についての理解を踏まえて、アメリカ合衆国が太平洋を通じた貿易に進出する過程で採った政策とその背景を考察できるかを問う。
問2	「資料1・2」の内容の読み取りを基に、ロシアの東方進出の歴史を、東アジアの動向と関連付けながら、時系列で理解しているかを問う。
問3	「パネル1」及び資料3の読み取りを基に、南京条約以降の中国の対外関係史についての知識を身に付けているかを問うとともに、アメリカ大陸経由でヨーロッパとアジアを結ぶ周回路の構想とその開発の経緯について、推測できるかを問う。
問4	「世界の一体化」についての概念的な理解を基に、特に19世紀後半における交通革命による「世界の一体化」に関する特徴的な歴史的事象について、理解しているかを問う。
問5	B 大阪商船の定期航路を時期別に示した「図2」から、必要な情報を適切に読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報を基に、19世紀末から20世紀初頭における日本・日本人の国際的な活動状況に関する歴史事象について理解しているかを問う。
問6	太平洋戦争のころの南洋諸島や東南アジアに関して、太平洋戦争に至る歴史的展開の中で置かれていた状況とその変容について理解しているかを問う。
問7	戦後の復員・引揚げ者数を整理した「表」から必要な情報を適切に読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報を基に、太平洋戦争において、日本・日本人がアジア太平洋地域にどのように関与してきたのかについて理解しているかを問う。

問 8	「ラッセル=アインシュタイン宣言」の一部を抜粋した資料から必要な情報を適切に読み取ることができるかを問うとともに、第二次世界大戦の歴史的経緯や、戦争末期及び戦後の核兵器に関する歴史的な動向について理解しているかを問う。
問 9	A（上原さんの班の発表）・B（佐藤さんの班の発表）それぞれの内容を踏まえ、「自由と制限」と「統合と分化」という二つの観点に即して、「さらに探究するための課題」とそれぞれについて探究するための資料とを、日本を中心とした戦後の国際関係に関する理解を基に、適切に関連付けることができるかを問う。第1問全体を踏まえた、総括的な設問。

『歴史総合，日本史探究』第2問

第2問は、主に高等学校学習指導要領「日本史探究」の「A 原始・古代の日本と東アジア」の「(3) 古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」、「B 中世の日本と世界」の「(3) 中世の国家・社会の展望と画期（歴史の解釈，説明，論述）」、「C 近世の日本と世界」の「(3) 近世の国家・社会の展望と画期（歴史の解釈，説明，論述）」及び「D 近現代の地域・日本と世界」の「(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造」に対応したものである。

この大問では、「学びの歴史」に関する大学生の会話を基に、時代を通貫する問いが展開する設定となっている。各設問の中で、資料を基に考察していく中で必要とされる資質・能力を問うている。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	江戸時代に創設された教育機関について、その事業を賛美する立場から書かれた資料から、資料を作成した人物の知識を踏まえて、必要な情報を適切に読み取ることができるかを問う。
問2	古代の大学と上級貴族に与えられた身分特権との関係について、会話文から読み取った情報を踏まえ、理解しているかを問う。
問3	台湾に帝国大学を設置することになった経緯を示した資料を、植民地台湾についての理解を踏まえて、適切に読み取ることができるかを問う。
問4	近世から近現代に至る学問の変化に関わる会話文から、対話者が学問の何をどのように論じているかに関して適切に読み取った情報を基に、近世から近現代における学問と国家・社会の関わりを理解しているかを問う。
問5	法然の講釈を聞きに集まった人々を描いた資料と、大正期の小学校での授業の様子を写した資料とを比較して、身分・職業の違いや性別に着目しながら、教育の在り方に関するそれぞれの特徴と時期による変化を読み取ることができているかを問う。

『歴史総合，日本史探究』第3問

第3問は，主に高等学校学習指導要領「日本史探究」の「A 原始・古代の日本と東アジア」の「(3) 古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」に対応したものである。

この大問では，「日本史探究」の授業において，修学旅行で訪問した藤原宮跡の資料館で手に入れた木簡の解説シートを基に，各班が考察，発表する場面を設定し，そのような探究的な活動で必要とされる資質・能力を問うている。各小問の概要は，以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	「アキラさんのメモ」を基に，メモ中にある【疑問点】を，図「古代の都城と交通路」から必要な情報を読み取り，その内容を整理した上で，古代における交通及び流通に関して，その歴史的特性について考察できるかを問う。
問2 (1)	「ラナさんのメモ」から，「史」が文筆を特殊技能としてもつ渡来系の人々であることを読み取った上で，百済から日本列島にやって来た人々と日本の歴史の関わりを時系列で理解しているかを問う。
問2 (2)	木簡史料という初見資料から読み取れることを，「ラナさんのメモ」「解説シート」と照らし合わせながら追究する過程で，藤原京時代の時代背景についての理解や，与えられた資料文から読み取った情報を踏まえて，当時の状況について論理的な妥当性に基づいて推測できるかを問う。
問3	「カオリさんのメモ」から読み取った情報と，弘仁・貞観期の基本的な知識や時代背景とを関連付けて，古代日本に現れた「唐風」という現象について，その特徴を考察できるかを問う。
問4	「前後の時代と比較した藤原京の時代の特徴」について追究する際に基となる，問1～3のそれぞれで言及した歴史事象や，その前後の時代における歴史事象についての基本的な知識を身に付けているかを問う。第3問全体を踏まえた，総括的な設問。

『歴史総合，日本史探究』第4問

第4問は、主に高等学校学習指導要領「日本史探究」の「B 中世の日本と世界」の「(1)中世への転換と歴史的環境」「(3)中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」及び「C 近世の日本と世界」の「(1)近世への転換と歴史的環境」に対応したものである。

この大問では、「日本史探究」の授業において、「中世社会における様々な権力による対立・紛争の解決方法」について、資料を基に、各グループが追究する場面を設定し、それらの探究活動で必要とされる資質・能力を問うている。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

A 問1	『天狗草紙』という画像資料と会話文から読み取った情報と、古代と中世における時代の連続性や変化とを関連付けながら、寺社勢力の新しい動きを踏まえた古代社会から中世社会への移行期について理解しているかを問う。
問2	資料2についての基本的な知識を踏まえて、資料2が、古代的要素を残しながら、中世的な法へと移行しつつあるということを、会話文や資料2から読み取ることができるかを問う。
問3	会話文や資料1～3から読み取った情報を基に、中世についての基本的な知識を踏まえて、法と強制力に関わる日本の古代と中世との連続性とその変容について考察できるかを問う。
B 問4	国人一揆から戦国大名にいたる地域権力の結集の特徴についての理解を踏まえて、資料4から必要な情報を適切に読み取りながら、日本中世の一揆の歴史的特徴について考察できるかを問う。
問5	中世から近世への時代の転換に関して、戦国大名と近世統一権力との質的な違いに着目して、それぞれの時代における政治権力の特徴を考察できるかを問う。

『歴史総合，日本史探究』第5問

第5問は、主に高等学校学習指導要領「日本史探究」の「C 近世の日本と世界」の「(3)近世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）」に対応したものである。

この大問では、「日本史探究」の授業において、江戸時代の大坂に着目して政治や社会について、資料を基に、高校生が考察する場面を設定し、それらの探究活動で必要とされる資質・能力を問うている。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	江戸時代の都市社会の歴史的特徴と変化を、大坂を事例にして追究する際に、近世大坂の人口統計表から読み取った情報を基にして、表に現れた変化の歴史的背景を考察できるかを問う。
問2	1735年に出された法令（資料1）から読み取った情報を基に、近世社会についての基本的な知識を踏まえ、石高制に着目して、近世の社会・経済の仕組みを考察できるかを問う。
問3	図版（資料2）とその解説文（メモ2）から読み取った情報を基に、江戸時代における中国（清）・朝鮮・琉球を中心とした、近世の対外関係について理解しているかを問う。
問4	大塩平八郎の主張の一部をまとめた「メモ3」から必要な情報を適切に読み取ることができるとともに、近世後期の大坂で発生した大塩の乱について理解しているかを問う。
問5	江戸時代における陽明学と陽明学者に関して、その政治的・社会的影響について理解しているかを問う。

『歴史総合，日本史探究』第6問

第6問は、主に高等学校学習指導要領「日本史探究」の「D 近現代の地域・日本と世界」の「(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造」に対応したものである。

この大問では、「日本史探究」の授業を選択している高校生が、関東地方にあるα市の博物館を訪問してその展示資料を基に、日本近現代史について考察する場面を設定し、そのような探究的な活動で必要とされる資質・能力を問うている。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	ある博物館における「明治維新と西南戦争の展示」の資料から読み取った情報と、この時代に関する知識とを関連付けさせて、「明治維新」の範囲や定義・性格、時代の特徴について考察できるかを問う。
問2	明治期の日本の教育制度についての理解を踏まえて、明治期の町村など地方財政における教育費の比重の高さと教育を重視する諸政策との関連性について考察できるかを問う。
問3	日本国内（内地）における米供給量の変化を示した表から読み取った情報を基に、当時の社会情勢についての理解を踏まえて、米の供給元ごとの数量変化と、当時の社会情勢との関連性について考察できるかを問う。
問4	戦後直後の画像（パネル2）及び解説文の読み取りから導き出された「疑問」と、その疑問を解決するための手段として適切な方法とを、この時期についての基本的な知識を踏まえながら、適切に関連付けることができるかを問う。
問5	提示された「模式図」を基に、1900年代、1930年代、1980年代それぞれの時期の国内外及び地域における産業発展の相互の影響関係を考察する際に、世界経済と国内産業の状況が地域社会に与えた影響について理解しているかを問う。

3. 試作問題『歴史総合，世界史探究』の概要

(1) 問題構成

試作問題『歴史総合，世界史探究』は，以下の構成で作成している。

問題番号	出題内容（平成30年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第1問 ※1	【歴史総合】 「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(3)国民国家と明治維新」，「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(1)グローバル化への問い」「(2)冷戦と世界経済」「(3)世界秩序の変容と日本」に対応したものである。	25
第2問	【世界史探究】 「C 諸地域の交流・再編」の「(3)アジア諸地域とヨーロッパの再編」，「D 諸地域の結合・変容」の「(3)帝国主義とナショナリズムの高揚」及び「E 地球世界の課題」の「(2)経済のグローバル化と格差の是正」に対応したものである。	13
第3問	【世界史探究】 「B 諸地域の歴史的特質の形成」の「(3)諸地域の歴史的特質」及び「C 諸地域の交流・再編」の「(1)諸地域の交流・再編への問い」「(2)結び付くユーラシアと諸地域」に対応したものである。	15
第4問	【世界史探究】 「B 諸地域の歴史的特質の形成」の「(3)諸地域の歴史的特質」，「C 諸地域の交流・再編」の「(3)アジア諸地域とヨーロッパの再編」及び「D 諸地域の結合・変容」の「(2)世界市場の形成と諸地域の結合」「(3)帝国主義とナショナリズムの高揚」「(4)第二次世界大戦と諸地域の変容」に対応したものである。	25
第5問	【世界史探究】 「C 諸地域の交流・再編」の「(2)結び付くユーラシアと諸地域」「(3)アジア諸地域とヨーロッパの再編」，「D 諸地域の結合・変容」の「(3)帝国主義とナショナリズムの高揚」及び「E 地球世界の課題」の「(2)経済のグローバル化と格差の是正」に対応したものである。	22
	合計	100

※1 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の「歴史総合」第2問と共通

(注) 上記の出題内容は試作問題『歴史総合，世界史探究』のものであります。令和7年度大学入学共通テスト『歴史総合，世界史探究』の出題内容は，本試作問題を踏まえ，今後も引き続き検討します。

(2) 各問題の概要

『歴史総合、世界史探究』第1問

※試作問題『地理総合、歴史総合、公共』の「歴史総合」の第2問と共通

第1問は、主に高等学校学習指導要領「歴史総合」の「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(3)国民国家と明治維新」、 「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(1)グローバル化への問い」「(2)冷戦と世界経済」「(3)世界秩序の変容と日本」に対応したものである。

この大問では、「歴史総合」の授業において、世界の諸地域における人々の接触と他者認識について資料を基に考察する過程を設定し、その過程で必要とされる資質・能力を問うている。Aでは、19世紀のアジアと欧米との接触に関する歴史的事象について、話合いや図書館での調査活動によって得られた当時の海外で発行された論説記事の読み取りを通して、その特徴や背景を考察する過程を扱い、Bでは、第一次世界大戦などの戦争時における他者イメージを、当事国で発行された風刺画を例として取り上げ、ナショナリズムの視点で読み取り、その特徴や背景を考察する活動を扱っている。また、Cでは、1970年に開催された大阪万博について書かれた当時の新聞の社説を資料として取り上げ、そこでの発展途上国に対する認識がどのようなものであったかを考察する過程を扱っている。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

A 問1	横浜近郊で起きた薩摩藩とイギリス人とのあいだでの衝突を描いた図を選択し、また19世紀の日本の対外関係史における当該事件の位置を、時系列的な因果関係についての知識に基づいて、示された年表から適当な時期を考察できるかを問う。
問2	幕末における日本と欧米との外交関係における政治的・経済的・文化的な特徴を踏まえて、会話文の読み取りから得られた情報や日本の外交上の諸課題についての知識を基に、英字新聞の論説記事に書かれている内容を推測できるかを問う。
問3	19世紀のアジア諸国において、欧米との接触を通して起こった様々な近代化の事象について、同時期の日本との比較を踏まえた上で、理解しているかを問う。
B 問4	戯画化して示された第一次世界大戦の対立の様子について、会話文の読み取りを基に、第一次世界大戦についての知識を踏まえて、空欄に当てはまる国として適切な国を類推できるかを問う。正答が複数ある中で、そのいずれか一つを選択する問題。
問4 (2)	問4(1)における複数解の選択に対応して準備された選択肢群の中から、(1)の選択で選択した国の近現代の歴史についての知識を身に付けているかを問う。問4(1)との連動問題。
問5	ナショナリズムの現れ方についての抽象化された概念と、それに合致する歴史具体的な事例について、会話文から類推されるナショナリズムの概念を基にして、具体的な歴史的事象をナショナリズムの現れとして評価できるかを問う。

C 問 6	1970 年当時の日本と世界の社会情勢の特徴的な有様について、社説の抜き書きに示された 1970 年当時の日本の社会状況を踏まえて、この時期の日本と世界の置かれた政治・社会情勢の特徴を考察できるかを問う。
問 7	1970 年の大阪万博に発展途上国が積極的に参加するに至った国際的背景として、発展途上国が置かれていた、1970 年頃の国際情勢について理解しているかを問う。
問 8	1970 年から 2019 年にいたる約 60 年に及ぶ ODA の推移に関するグラフを基に、グラフに見える変化を適切に読み取ることができるかを問うとともに、1970 年代以降のアジアを中心とする国際情勢の推移や変化についての知識を踏まえ、その変化の歴史的背景について考察できるかを問う。

『歴史総合，世界史探究』第2問

第2問は、主に高等学校学習指導要領「世界史探究」の「C 諸地域の交流・再編」の「(3)アジア諸地域とヨーロッパの再編」，「D 諸地域の結合・変容」の「(3)帝国主義とナショナリズムの高揚」及び「E 地球世界の課題」の「(2)経済のグローバル化と格差の是正」に対応したものである。

「世界史上における都市」をテーマとして、世界史上に見られた各都市の特徴や様子、在り方を探究する場面として、特にイスタンブル、北京、ケープタウン、大連を取り上げ、これらの三つの都市の特徴と、大連の特徴との関連性を考察する過程で求められる資質・能力を問うている。中間はない。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	17世紀のオスマン帝国時代のイスタンブルの宗教施設の分布図から必要な情報を読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報を踏まえ、イスラーム世界に関する基本的な知識と関連させ、その特徴を考察できるかを問う。
問2	北京の都市構成を示した資料とメモから必要な情報を読み取ることができるかを問うとともに、北京がそのような構成になった歴史的背景について考察できるかを問う。
問3	20世紀後半のケープタウンにおける使用言語の分布図と、それぞれの言語話者の構成を示した表を基に、複数の資料を比較・検討して、必要な情報を読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報と、ケープタウンに関する知識を関連付けながら、類似や差異に着目して、その特徴について多面的・多角的に考察できるかを問う。
問4	問1～問3で扱われた都市の特徴を基にした分類を踏まえ、日露戦争前のロシアによって作成された大連の都市計画に関連した図4と説明を基に、他の都市の特徴との共通性や差異性に着目して、大連の位置付けを考察できるかを問う。第2問全体を踏まえた、総括的な設問。

『歴史総合，世界史探究』第3問

第3問は、主に高等学校学習指導要領「世界史探究」の「B 諸地域の歴史的特質の形成」の「(3)諸地域の歴史的特質」及び「C 諸地域の交流・再編」の「(1)諸地域の交流・再編への問い」「(2)結びつくユーラシアと諸地域」に対応したものである。

第3問全体としては、「歴史上見られた人やモノの移動及び移動ルート」をテーマとして取り上げている。「世界史探究」の授業において、複数の地図資料を用いて、人やモノの移動及び移動ルートが、当時の国際環境の中でどのように決められていったのかを視点にして構造的に理解し、多面的・多角的に考察する過程で求められる資質・能力を問うている。

A では、中国の宋が朝鮮の高麗王朝に使節を派遣する際のルートについての特徴や背景を扱い、B では、15～16世紀のイングランド商人によるアジア航路の開拓について取り上げている。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

A 問1	会話文と、図1に示された地図から必要な情報を読み取ることができるかを問うとともに、朝鮮半島の高麗や中国の制度の歴史について理解しているかを問う。
問2	会話文及び地図から読み取った情報を踏まえ、10～12世紀の中国北方の政治情勢についての知識を基に、使節が陸路ではなく海路を採った根拠を推測できるかを問う。
問3	使節が用いた船舶の運航の在り方について、複数の資料から必要な情報を読み取ることができるかを問うとともに、使節が用いた船舶の運航に関して、その特徴を多面的・多角的に考察できるかを問う。
B 問4	地理学上の進展に貢献した人物や、その事績に関する知識について、時系列で理解しているかを問う。
問5	ヨーロッパ勢力の対外進出についての知識を身に付けているかを問うとともに、会話文及び地図やメモの読み取りから、イングランド人が試みた新しいルートを推測できるかを問う。

『歴史総合，世界史探究』第4問

第4問は、主に高等学校学習指導要領「世界史探究」の「B 諸地域の歴史的特質の形成」の「(3)諸地域の歴史的特質」、 「C 諸地域の交流・再編」の「(3)アジア諸地域とヨーロッパの再編」及び「D 諸地域の結合・変容」の「(2)世界市場の形成と諸地域の結合」「(3)帝国主義とナショナリズムの高揚」「(4)第二次世界大戦と諸地域の変容」に対応したものである。

世界史探究における課題の追及を促す資料の重要性に着目して、様々な資料の活用をテーマとし、ここでは国家と宗教との関係性について述べた資料を基に、政治と宗教の関係性について考察する過程で求められる資質・能力を問うている。

A は、ローマ帝国時代に記された皇帝と属州総督との間にやり取りされた書簡という文字資料から、ローマ帝国とキリスト教の関係について取り上げ、B は、写真資料として北朝時代に造られた石仏の写真をもとに、中国王朝と仏教との関係について扱っている。更に、C では、図版資料として、フランスのライシテに関する風刺画を扱うことで、政教分離という側面から国家と宗教の関係について扱っている。各小問の概要については、以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	A	ローマ帝国における宗教政策についての資料から、必要な情報を読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報を基に、ローマ帝国における宗教と政治に関する知識を踏まえて、ローマ帝国とキリスト教徒との関係について考察できるかを問う。
問2		ローマ帝国内に流行した宗教に関して、その教義内容等について理解しているかを問う。
問3		ローマ帝国による地中海地域の統一の終焉に見られる古代と中世という時代の画期について概念的に理解しているかを問うとともに、地中海地域の統一の終焉に関する二つの主張について、それぞれ具体的な歴史事象を根拠として関連付けることができるかを問う。
問4	B	南北朝期の中国における歴史的事象を踏まえ、宗教と国家の関係について概念的に理解しているかを問うとともに、宗教と国家に着目して、その関係について考察できるかを問う。
問5		中国の南朝の文化の特徴について、その内容や特徴を、世界史上に見られた文化・思想との比較を踏まえた上で、理解しているかを問う。
問6	C	宗教と政治の関係に関する複数の資料から必要な情報を読み取り、それらの情報を基に、それぞれの歴史的事象を類推し、ナポレオンの宗教協約を基準に、宗教と国家の変遷に関する知識を、時系列で理解しているかを問う。
問7		解説文からの読み取りと近代ヨーロッパにおける文化・思想に関する知識を関連付けることで人物を類推し、その人物に関連する文化・思想の領域について、後世への影響を含めて理解しているかを問う。
問8		解説文の読み取りによって得られた情報から解説文に示されたフランスの法律の内容を把握し、政教分離の原則についての概念を基に、類似や共通性に着目して、具体的な歴史的事象を評価できるかを問う。

『歴史総合，世界史探究』第5問

第5問は、主に高等学校学習指導要領「世界史探究」の「C 諸地域の交流・再編」の「(2)結びつくユーラシアと諸地域」「(3)アジア諸地域とヨーロッパの再編」、 「D 諸地域の結合・変容」の「(3)帝国主義とナショナリズムの高揚」及び「E 地球世界の課題」の「(2)経済のグローバル化と格差の是正」に対応したものである。

「世界史探究」の授業において、ある共通の主題を基に、それぞれ資料を活用して考察し、その結果をレポートにまとめる場面を設定している。まとめたレポートを素材として取り上げ、考察の過程で求められる資質・能力を問うている。

Aは、ワット=タイラーの乱について述べた2つの年代記を資料とし、それを基に行われた考察の結果をまとめたレポート、Bは、インドネシアの女性活動家カルティニに関する記録を基に行われた考察の結果をまとめたレポート、Cは、ベトナム戦争に関連したグラフ及び表を資料として、それらを基にした考察の結果をまとめたレポートを扱っている。また、問7は、第5問のA～Cに共通した主題を考えさせた上で、その主題を更に深めるために適当な事例とは何かを考察する問いとした。そのため、大問のリード文の中で空欄によって主題を提示し、その後、中間Cの最後の小問（問7）において、空欄を問う形式とした。各小問の概要については、以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	A レポートに示している一つ目の年代記から、そこに示された隷農に関する情報を読み取ることができるかを問うとともに、中世ヨーロッパの封建社会における農奴の地位について理解しているかを問う。
問2	B レポートから必要な情報を読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報を基に、中世ヨーロッパ社会で見られた社会制度とその変容について理解しているかを問う。
問3	B 資料から必要な情報を適切に読み取ることができるかを問うとともに、当時の東南アジアの社会的情勢について理解しているかを問う。更には、推測される言語について説明・議論するために、どの歴史事象を根拠として用いればよいかについて考察できるかを問う。
問4	B 資料の読み取りと既習内容の知識から類推される、カルティニが活動した時期の東南アジアに見られた植民地政策と、資料に示された言論活動を可能にしたこととの関連性について、植民地政策の変容に着目して、考察できるかを問う。
問5	C 資料から必要な情報を適切に読み取ることができるかを問うとともに、ベトナム戦争に関して、地図における地理的な把握も含めて理解しているかを問う。
問6	C グラフや資料から、考察に必要な情報を読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報を基に、下線部が示す事柄との共通性に着目して、アメリカ合衆国における当時の国内社会の特徴を考察できるかを問う。
問7	C 第5問の大問リード文に中間A～Cに共通する主題を空欄にして提示し、その主題を類推した上で、その主題を更に深めるために適当な事例を考察する、第5問全体を総括的に整理した設問。それぞれの中問に示された複数の資料から必要な情報を読み取り、その内容をまとめることができるかを問うとともに、それらを基に、資料が扱った時代の特徴に関する概念的な理解を踏まえて、主題の追究に向けて構想できるかを問う。

4. 試作問題『地理総合，歴史総合，公共』の概要

(1) 問題構成

試作問題『地理総合，歴史総合，公共』は，以下の構成で作成している。

「地理総合」

問題番号	出題内容（平成30年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第1問 ※1	【地理総合】 「B 国際理解と国際協力」の「(2)地球的課題と国際協力」における，主に難民をめぐる現状や課題に対応したものである。	12
第2問 ※2	【地理総合】 「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(1)自然環境と防災」における，主に日本の自然環境と防災に対応したものである。	13
第3問	【地理総合】 「B 国際理解と国際協力」の「(1)生活文化の多様性と国際理解」における，主に世界の気候や産業と人々の生活との関わりに対応したものである。	13
第4問	【地理総合】 「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(2)生活圏の調査と地域の展望」における，主に地理的な課題解決に求められる取組に対応したものである。	12
	合計	50

※1 試作問題『地理総合，地理探究』の第1問と共通

※2 試作問題『地理総合，地理探究』の第2問と共通

「歴史総合」

問題番号	出題内容（平成30年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第1問 ※3	【歴史総合】 「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(4)近代化と現代的な諸課題」，「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(3)経済危機と第二次世界大戦」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(2)冷戦と世界経済」に対応したものである。	25
第2問 ※4	【歴史総合】 「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(3)国民国家と明治維新」，「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(1)グローバル化への問い」「(2)冷戦と世界経済」「(3)世界秩序の変容と日本」に対応したものである。	25
	合計	50

※3 試作問題『歴史総合，日本史探究』の第1問と共通

※4 試作問題『歴史総合，世界史探究』の第1問と共通

「公共」

問題番号	出題内容（平成30年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第1問 ※5	【公共】 「A 公共の扉」の「(1)公共的な空間を作る私たち」及び「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のうち「主として法に関わる事項」に対応したものである。	13
第2問	【公共】 「A 公共の扉」の「(3)公共的な空間における基本的原理」, 「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のうち「主として政治に関わる事項」, 「主として経済に関わる事項」に対応したものである。	12
第3問	【公共】 「A 公共の扉」の「(2)公共的な空間における人間としての在り方生き方」, 「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」のうち「主として経済に関わる事項」に対応したものである。	13
第4問 ※6	【公共】 「A 公共の扉」, 「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」及び「C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」に対応したものである。	12
	合計	50

※5 試作問題『公共, 倫理』第1問及び『公共, 政治・経済』の第1問と共通

※6 試作問題『公共, 倫理』第2問及び『公共, 政治・経済』の第2問と共通

(注) 上記の出題内容は, 試作問題『地理総合, 歴史総合, 公共』のものです。令和7年度大学入学共通テスト『地理総合, 歴史総合, 公共』の出題内容は, 本試作問題を踏まえ, 今後も引き続き検討します。

(2) 各問題の概要 (地理総合)

『地理総合、歴史総合、公共』の「地理総合」第1問

※試作問題『地理総合、地理探究』の第1問と共通

第1問は、主に高等学習指導要領「地理総合」の「B 国際理解と国際協力」の「(2)地球的課題と国際協力」に対応したものである。

地球的課題としての難民問題に関する基礎的・基本的な知識を基に、難民の出身国や受入れ国それぞれの地域内外の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、難民問題の現状や要因、課題の解決の方向性などを多面的・多角的に考察できるかを問う。

■各設問の概要

問1	主題図から難民が発生している地域や数、特徴などを読み取り、難民の実態に関する知識と関連付け、難民問題の現状と課題について考察できるかを問う。
問2	概念図から紛争鉱物の産出と流通に関する情報を読み取り、難民の発生に関する知識と関連付け、紛争が継続する要因とその解決について考察できるかを問う。
問3	説明文やグラフから各国の難民の受入れ数の推移などを読み取り、難民受入れの歴史的背景に関する知識と関連付け、各国の難民受入れの動向について考察できるかを問う。
問4	資料から難民の発生と受入れに関する現状や課題などを読み取り、難民問題に関する知識と関連付け、難民問題の解決に向けた必要な対応について考察できるかを問う。

『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」第2問

※試作問題『地理総合，地理探究』の第2問と共通

第2問は，主に高等学校学習指導要領「地理総合」の「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(1)自然環境と防災」に対応したものである。

世界や日本でみられる自然災害と防災に関する基礎的・基本的な知識と，新旧地形図の読図などの地理的な技能を基に，防災と自然及び社会的条件との関わりや持続可能な地域づくりなどに着目して，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察できるかを問う。

■各設問の概要

問1	主題図から1900年以降に発生した地震の震央や規模などを読み取り，地震と世界の大地形に関する知識と関連付け，地震の発生領域や発生履歴について考察できるかを問う。
問2	地形図と治水地形分類図から地形の特徴や土地利用などを読み取り，河川が作る地形とその特徴に関する知識とを関連付け，土地条件と災害リスクについて考察できるかを問う。
問3	資料から自然災害伝承碑の記載内容を読み取り，地形や自然災害に関する知識と関連付け，地震による被害がもたらされる地形や土地条件について考察できるかを問う。
問4	天気図から気圧配置などを読み取り，気象によって想定される自然災害に関する知識と関連付け，自然災害と防災や減災のための構造物との関係について考察できるかを問う。

『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」第3問

第3問は，主に高等学校学習指導要領「地理総合」の「B 国際理解と国際協力」の「(1)生活文化の多様性と国際理解」に対応したものである。

世界の生活文化や食料生産に関する基礎的・基本的な知識を基に，居文化や食文化等が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件などに着目して，居文化及び食文化や食料生産の多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察できるかを問う。

■各設問の概要

問1	資料から中国の住居の建築様式の特徴を読み取り，気候に関する知識と関連付け，環境に適応した住居の多様性について考察できるかを問う。
問2	資料から世界の嗜好品消費に関する特徴を読み取り，文化や宗教と嗜好品の消費に関する知識とを関連付け，嗜好品の消費量の地域差とその背景について考察できるかを問う。
問3	主題図から家畜の飼育頭数と穀物の生産量の特徴を読み取り，食料生産と自然及び社会環境に関する知識とを関連付け，食料生産の自然及び社会的条件について考察できるかを問う。
問4	写真からアジア各地の伝統料理の特徴を読み取り，気候や農業，文化に関する知識と関連付け，食文化の地域的な差異について考察できるかを問う。

『地理総合，歴史総合，公共』の「地理総合」第4問

第4問は，主に高等学習指導要領「地理総合」の「C 持続可能な地域づくりと私たち」の「(2)生活圏の調査と地域の展望」に対応したものである。

地形図や様々な主題図から情報収集に関する基礎的・基本的な知識と，情報を読み取るための地理的な技能を基に，地域内外の結び付きや地域の成り立ち，変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，生活圏レベルで見られる地理的な課題の変容の要因や課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察，構想できるかを問う。

■各設問の概要

問1	主題図と写真から都市内各地の特徴を読み取り，都市の構造や景観に関する知識と関連付け，人口集中地区，市街地郊外，工業専用地区の景観について考察できるかを問う。
問2	会話文と新旧の地形図から土地利用の変遷に関わる情報を読み取り，都市化に関する知識と関連付け，都市内で異なる市街地の変容や背景について考察できるかを問う。
問3	主題図やグラフから工業団地の開発時期や人口の変化などを読み取り，都市開発に関する知識と関連付け，人口動態や産業別就業者数の変化について考察できるかを問う。
問4	資料から聞き取り調査の結果を読み取り，統計地図から得られた地域情報に関する知識と関連付け，都市の課題について考察したり，今後の展望に向けて構想したりできるかを問う。

(3) 各問題の概要（歴史総合）

『地理総合、歴史総合、公共』の「歴史総合」の第1問

※試作問題『歴史総合、日本史探究』の第1問と共通

第1問は、主に高等学校学習指導要領「歴史総合」の「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(4)近代化と現代的な諸課題」,「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(3)経済危機と第二次世界大戦」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(2)冷戦と世界経済」に対応したものである。

この大問では、「歴史総合」の授業において、「人やモノの移動とその影響」を主題にして、資料を基に考察する場面を設定し、その探究活動の過程で必要とされる資質・能力を問うている。A では、19世紀の交通革命による世界の一体化の進行について、作成されたパネルや資料を通してその特徴や背景を考察する過程を扱っている。また、B では、環太平洋地域における人の移動について、特に沖縄県からの人の動きに着目して図や表を通してその特徴や背景を考察する過程を扱っている。各小問の概要は、以下のとおりである。

■各設問の概要

問1	A 「パネル1」の読み取りを基に、第1次産業革命についての基本的な知識を身に付けているかを問うとともに、日本の開国についての理解を踏まえて、アメリカ合衆国が太平洋を通じた貿易に進出する過程で採った政策とその背景を考察できるかを問う。
問2	「資料1・2」の内容の読み取りを基に、ロシアの東方進出の歴史を、東アジアの動向と関連付けながら、時系列で理解しているかを問う。
問3	「パネル1」及び資料3の読み取りを基に、南京条約以降の中国の対外関係史についての知識を身に付けているかを問うとともに、アメリカ大陸経由でヨーロッパとアジアを結ぶ周回路の構想とその開発の経緯について、推測できるかを問う。
問4	「世界の一体化」についての概念的な理解を基に、特に19世紀後半における交通革命による「世界の一体化」に関する特徴的な歴史的な事象について、理解しているかを問う。
問5	B 大阪商船の定期航路を時期別に示した「図2」から、必要な情報を適切に読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報を基に、19世紀末から20世紀初頭における日本・日本人の国際的な活動状況に関する歴史的事象について理解しているかを問う。
問6	太平洋戦争のころの南洋諸島や東南アジアに関して、太平洋戦争に至る歴史的展開の中で置かれていた状況とその変容について理解しているかを問う。
問7	戦後の復員・引揚げ者数を整理した「表」から必要な情報を適切に読み取ることができるかを問うとともに、読み取った情報を基に、太平洋戦争において、日本・日本人がアジア太平洋地域にどのように関与してきたのかについて理解しているかを問う。

問 8	「ラッセル=アインシュタイン宣言」の一部を抜粋した資料から必要な情報を適切に読み取ることができるかを問うとともに、第二次世界大戦の歴史的経緯や、戦争末期及び戦後の核兵器に関する歴史的な動向について理解しているかを問う。
問 9	A（上原さんの班の発表）・B（佐藤さんの班の発表）それぞれの内容を踏まえ、「自由と制限」と「統合と分化」という二つの観点に即して、「さらに探究するための課題」とそれぞれについて探究するための資料とを、日本を中心とした戦後の国際関係に関する理解を基に、適切に関連付けることができるかを問う。第1問全体を踏まえた、総括的な設問。

『地理総合，歴史総合，公共』の「歴史総合」の第2問

※試作問題『歴史総合，世界史探究』の第1問と共通

第1問は，主に高等学校学習指導要領「歴史総合」の「B 近代化と私たち」の「(2)結び付く世界と日本の開国」「(3)国民国家と明治維新」，「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2)第一次世界大戦と大衆社会」「(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」及び「D グローバル化と私たち」の「(1)グローバル化への問い」「(2)冷戦と世界経済」「(3)世界秩序の変容と日本」に対応したものである。

この大問では，「歴史総合」の授業において，世界の諸地域における人々の接触と他者認識について資料を基に考察する過程を設定し，その過程で必要とされる資質・能力を問うている。Aでは，19世紀のアジアと欧米との接触に関する歴史的事象について，話合いや図書館での調査活動によって得られた当時の海外で発行された論説記事の読み取りを通して，その特徴や背景を考察する過程を扱い，Bでは，第一次世界大戦などの戦争時における他者イメージを，当事国で発行された風刺画を例として取り上げ，ナショナリズムの視点で読み取り，その特徴や背景を考察する活動を扱っている。また，Cでは，1970年に開催された大阪万博について書かれた当時の新聞の社説を資料として取り上げ，そこでの発展途上国に対する認識がどのようなものであったかを考察する過程を扱っている。各小問の概要は，以下のとおりである。

■各設問の概要

A 問1	横浜近郊で起きた薩摩藩とイギリス人とのあいだでの衝突を描いた図を選択し，また19世紀の日本の対外関係史における当該事件の位置を，時系列的な因果関係についての知識に基づいて，示された年表から適当な時期を考察できるかを問う。
問2	幕末における日本と欧米との外交関係における政治的・経済的・文化的な特徴を踏まえて，会話文の読み取りから得られた情報や日本の外交上の諸課題についての知識を基に，英字新聞の論説記事に書かれている内容を推測できるかを問う。
問3	19世紀のアジア諸国において，欧米との接触を通して起こった様々な近代化の事象について，同時期の日本との比較を踏まえた上で，理解しているかを問う。
B 問4 (1)	戯画化して示された第一次世界大戦の対立の様子について，会話文の読み取りを基に，第一次世界大戦についての知識を踏まえて，空欄に当てはまる国として適切な国を類推できるかを問う。正答が複数ある中で，そのいずれか一つを選択する問題。
問4 (2)	問4(1)における複数解の選択に対応して準備された選択肢群の中から，(1)の選択で選択した国の近現代の歴史についての知識を身に付けているかを問う。問4(1)との連動問題。
問5	ナショナリズムの現れ方についての抽象化された概念と，それに合致する歴史具体的な事例について，会話文から類推されるナショナリズムの概念を基にして，具体的な歴史的事象をナショナリズムの現れとして評価できるかを問う。

C 問 6	1970 年当時の日本と世界の社会情勢の特徴的な有様について、社説の抜き書きに示された 1970 年当時の日本の社会状況を踏まえて、この時期の日本と世界の置かれた政治・社会情勢の特徴を考察できるかを問う。
問 7	1970 年の大阪万博に発展途上国が積極的に参加するに至った国際的背景として、発展途上国が置かれていた、1970 年頃の国際情勢について理解しているかを問う。
問 8	1970 年から 2019 年にいたる約 60 年に及ぶ ODA の推移に関するグラフを基に、グラフに見える変化を適切に読み取ることができるかを問うとともに、1970 年代以降のアジアを中心とする国際情勢の推移や変化についての知識を踏まえ、その変化の歴史的背景について考察できるかを問う。

(4) 各問題の概要（公共）

（省 略）

※ 試作問題『地理総合、歴史総合、公共』の「公共」の各問題の概要は、「試作問題「公民」の概要」を御覧ください。